





# 宮司プレス 第四十四号

彦島八幡宮 宮司ニユース

発行者 彦島八幡宮

宮司 柴田 宜夫

発行 平成二十二年一月一日

◇宮司の柴田です。

平成二十二年の清々しき新年を寿ぎ、謹んでお慶びを申し上げます。皆様方には、氏神様八幡大神様の厚き御加護のもとに、ご家族お揃いにて輝かしい新年をお迎えの事と拝察申し上げます。

◇日新日清日進

昨年は、米国でオバマ氏が大統領に就任され、まさしく「変革」を提唱されました。国内でも長期にわたる自民党の政権から、民主党に政権が委ねられ、大きく枠組みが変わりましたね。

戦後、二番目のパラダイム(物の見方、思考の枠組み)の大変化、まさに「チェンジ」の年だったようです。

年頭の言葉を「日新日清日進」としたためました。六百五十通の年賀状、表の住所と御芳名については、文明の利器である「からくり印刷機」、パソコンの「筆ぐるめ」というソフトを大いに活用させて頂きました。しかし、裏面は、水茎(みずくき)の跡が、麗しくはありませんが、墨書させて頂きました。全部で十三種類、自筆したものの中の一つです。

◇修身 齊家 治国 平天下。

私事ですが、本年四回目の年男を迎えました。やはり、「修身(しゅうしん) 齊家(せいか) 治国(ちこく) 平天下(へいてんか)」であります。自分の行いを正し、身を修め、修身、

社会の中の一歩最小の団体で最大の安らぎのある家庭をととのえ治める、齊家、そして健全なる当宮の運営を成しえる、治国、そして、神様と氏子の皆様方が真に釣り合っている「真釣り、祭り」の共同体である地域社会を構築する、平天下であります。そのためには、日々新しく日々清々しく、日々前向きな生活を心がけたい、私の年男の決意の表明でありました。宮司プレス四十三号にも詳しく書きました、「大和心(やまとごころ)」や「則天去私(そくてんきよし)」、さらには、「天喜地喜人喜」などもしたため、少し欲張りでしたが、決意の一端を披瀝(ひれき)させて頂いたのです。

◇今年は、「庚寅(かのえとら)」の年です。

五行(ごごん)である木(き)・火(ひ)・土(つち)・金(か)・水(すい)が、陽(よう)と陰(いん)を組み合わせ、陽が兄(え)であり、剛強・動

の性質で、陰を弟(と)といい、柔和・静、これを兄弟(えと)といいます。干支(えと)の呼び名の由来です。

今年から、「金(きん、てつ)」「鉄」の支配する年まわりで、陽で「剛金(ごうきん)」、固い金属であります。

庚は、「こう」と読み、「更(あらたまるの意味)」と同じ意味で、草木が成熟して固まり行き詰まった結果、自ら新しい物に改まっていこうとする状態を表しています。寅は、「いん」と読み、「動く」という意味があり、草木が春の初めに発生する有様です。

◇寅は、動物では「虎」があてられています。日本では生息していませんし、多くの日本人が、本物の虎を目にするようになるのは、幕末以降の事だそうです。にもかかわらず、人の名前に用いられるほど親しまれていますね。「フーテンの寅」さんはじめ、「甲斐の虎」といわれた武田信玄の父親は、武田信虎です。吉田松陰先生も、寅次郎です。ちなみに私の母方の祖父は、他界しましたが「虎毅(とらき)」という名でありまして、明治堅気の名前に劣らぬ頑固な人

でした。

実は、中国天文学では、天球を東西南北の四大区画に分け、東が青竜、北が玄武、西が白虎、南が朱雀とそれぞれに対応付けられました。虎は、「密林の王者」とたたえられる猛獣ですが、大地のみならず、天空・時空を守護する神の化身(けしん)と考えられたのでした。

虎が、強くたくましく、神の化身でもある聖なる動物でもありながら、「虎の威を借る狐」ということわざがあるように、それでいて威張ること無く謙虚で、わが道を真っ直ぐに進むというところが、親しまれてきた理由の一つではないでしょうか。

◇社会情勢が混迷を深め不安定で、少子化高齢化が、世界最速で進み、社会の情勢も不安定であります。今年が、善きことや幸せに新しく改まる世の中へ向けて動き始める年であって欲しいと思いますし、そのように心から願うものです。そして、その新しく改まる動きに向けて、「虎」にあやかり、力強く謙虚な歩みを続けて行きたいものです。  
大神様の御加護によりまして、幸せ満ちあふれる年でありますよう、心からお祈り申し上げます。

◇十二月の祭典行事報告

▼祈漁祭(海士郷恵比須神社) 齋行

\* 十二月三日

▼大注連縄おろし

▽彦島八幡宮

\* 十二月六日

▽田の首八幡宮 \* 十二月二十三日

▽福浦金刀比羅宮 \* 十二月二十日

▼正月臨時巫女説明会開催

\* 十二月二十三日

※上||説明会前の正式参拝

※下||委嘱状の授与

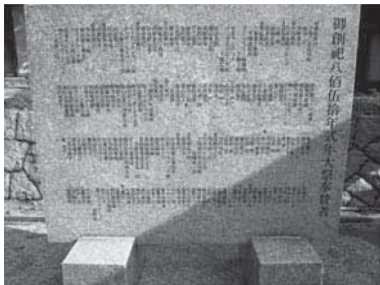


▼天長祭 \* 十二月二十三日

▼御創祀八百五十年式年大祭記念碑除幕

\* 十二月二十六日

※上||天長祭 下||記念碑



▼除夜祭、大祓式齋行 \* 十二月三十一日

◇一月の祭典行事予定

▼歳旦祭

\* 本宮 一月一日 午前九時

※終了後に参列者と新年拝賀

\* 福浦金刀比羅宮 \* 一月一日午前一時

\* 田の首八幡宮 \* 一月一日午前一時半

\* 貴布禰神社(老町) \* 一月一日午前七時

元始祭

\* 一月三日 午前九時

▼会社安全祈願祭(事始祭) 参拝

\* 一月四日~五日

▼福浦金刀比羅宮初月次祭 \* 一月十日

▼六連島八幡宮歳旦祭 \* 一月十一日

※歳旦祭終了後、島内氏子の戸別被い(約四十軒) 齋行

朝粥会

\* 一月二十一日

※朝の六時半より祈願祭、宮司講話の後にお粥を食べます、どなたでも参加できます。

◇一月の宮司の行事会議等予定

▼山口県神社庁下関支部関係

▽建国奉祝会役員会 \* 一月二十日

▽新年総会 \* 一月二十七日

▼カモンFM出演

\* 一月四日午後電話にて生出演

▼彦島地区新年互礼会 \* 一月七日

▼山銀はってんクラブ新年会 \* 一月七日

▼当宮早起会新年会 \* 一月十日

▼当宮維蘇志会新年会 \* 一月十二日

▼西中国信金経友会新年会 \* 一月十三日

▼宗教教誨活動

▽集合教誨(男子) \* 一月二十五日

# 社務日誌抄 (下半期)

平成二十二年七月～十二月

## 七月九日

- ▼六連島八幡宮七社祭 十五日
- ▼竹の子島天満宮例祭 十九日
- ▼夏越祭奉納グランドゴルフ大会 二十四日
- ▼田の首八幡宮夏越祭 二十五日
- ▼六連島八幡宮夏越祭 二十六日
- ▼敬神婦人会境内清掃 二十七日
- ▼茅ノ輪奉製 二十九日
- ▼夏越祭前夜祭 三十日
- ▼夏越祭御神幸祭 三十一日



▼三十一日 海士郷恵美須神社夏越祭

## 八月九日

▼まほろば学級



## 九月一日

- ▼下関唐戸魚市場(株)参拝
- ▼海上自衛隊ミサイル艇おたか艇 長他十八名参拝
- ▼透塀竣工 八日



## 十日、十一日

▼若宮神社例祭 奉納平家踊り



## 十四日

- ▼神額奉納
- \* 神道会「光格殿」



\* 敬神婦人会「彦島八幡宮」



藤棚支柱設置



## 二十三日

▼秋季祖霊祭

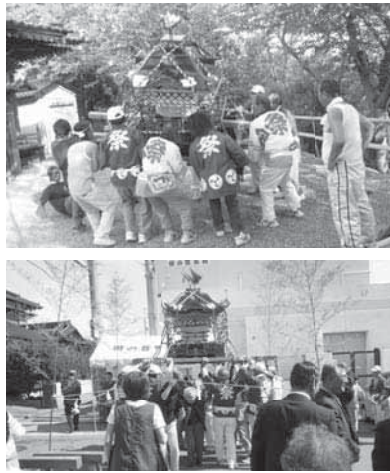


▼貴布禰神社例祭



## 十月二日

- ▼サイ上り神事神役協議会 四日
- ▼御創祀八百五拾年式年大祭奉納グランドゴルフ大会



▼田の首八幡宮例祭御神幸祭  
十一日  
▼田の首八幡宮例祭前夜祭  
十日  
▼奉納グランドゴルフ大会



▼六連島八幡宮例祭御神幸祭  
五日



▼六連島八幡宮例祭前夜祭  
湯立神事



▼敬神婦人会境内清掃  
十四日  
▼舞子島八幡宮例祭  
十七日  
▼神宮神嘗祭当日祭  
▼御創祀八百五拾年式年大祭前夜祭  
十八日  
▼御創祀八百五拾年式年大祭、祝賀会  
山口県無形民俗文化財指定「サイ上  
り神事」齋行  
\*安倍元首相、  
中尾下関市長、  
他各界来賓参列



▼龍宮神社例祭  
十五日  
▼七五三祭  
二十三日  
▼新嘗祭



十二月三日  
▼明治祭



▼リバーズ彦島歴史ウォーク開催  
二十九日  
▼老三町 長崎興幹氏 菊花奉納

▼神社関係団体忘年会  
十二日  
▼氏子青年・維蘇志会神恩感謝祭、  
忘年会  
二十三日  
▼天長祭  
▼正月臨時巫女奉仕者説明会  
三十一日  
▼大祓式  
▼除夜祭



十二月三日  
▼祈漁祭  
七日  
▼大注連縄奉製  
二十五日  
▼六連島八幡宮新嘗祭  
三十日  
▼敬神婦人会茶話会  
(於、彦島八幡宮会館瑞鳳殿)

# まほろば学級 寄稿感想文



去る平成二十年八月九日(日)、「まほろば学級」を開催致しました。

情操教育の一環として、下関市教育委員会の後援のもと第四回目を迎え、年毎に参加者も増加し多くの反響を頂いております。参加児童から寄せられた感想文を掲載させていただきます。

彦島地区の小学校を通じて、夏季休暇前のご案内を配布しております。一日という短い時間ではありますが、氏神さまの境内、鎮守の杜で楽しい時間を過ごしてみませんか。例年、八月第二日曜日に開催しております。



私は、まほろば学級に参加し、たくさんの友達をつくることができ、又、神様の尊さ、目に見えない力を知ることができました。  
私が特に心に残ったことは、あんどん作りと宮司さんのお話です。

まず、あんどん作りは、友達やお手伝いの大人の方たちと協力して、思いのままに絵を描き、願いを込めて自分のあんどんを作りました。そして、夜になるとみんなであんどんにロウソクの灯りをいれ、行列をして歩きました。

次は、宮司さんのお話です。宮司さんは、「明浄正直勤務追進」の言葉の意味や、お祓いの力のお話をしてくれました。わたしは、宮司さんが話された後に、神様の偉大さや神様を思う心はすごいなと思いました。

正月ばかりであまり八幡宮にきたことがなかったけど、この機会に色々な事が学べて、楽しく過ごすことができて本当に感謝したいです。



来年もまほろば学級に行きたいです。  
(大田 ひより)

## 『神社・お祭りの自由画コンテスト』 入賞者の発表

過日、開催されました「第十七回神社・

お祭りの自由画コンテスト(山口県神社庁主催)に応募されました下関市立江浦小学校・第三学年の大谷優香さんが多数の応募者の中より選ばれ、山口県神社庁長賞の榮譽に輝かれましたのでご報告申し上げます。

毎年、彦島地区の小学校対象に夏季休暇前、コンテスト応募のご案内を致しております。彦島地区以外の山口県内の小学生の皆様は、次年度以降、氏神神社(うじがみじんじや)や山口県神社庁(☎〇八三一九二二一〇五〇六)にお問い合わせ下さい。



# 御創祀八百五十年式年記念事業完工のご報告

平成十六年より五ヶ年、慎重審議を重ね、御神殿透塀工事をはじめとする境内整備、様々な事業を進めて参りましたが、去る平成二十一年十月十七(土)、十八(日)日の両日、御創祀八百五拾年式年大祭厳修をもち本事業の完遂を見るに至りました。

偏に敬神の念篤い多くの皆様方の御奉賛と御支援のお陰と厚く御礼申し上げます。

式年大祭には山口県神社庁金長副庁長様を献幣使として御参向を仰ぎ、且つ又、当宮創祀者の河野通次を偲び此度、作詞作曲されました筑前琵琶『彦島八幡宮御神鏡サイ上り神事の条』が佐々木旭醉先達により奉奏されるなど神事は厳肅に、そして奉祝もちまき、奉祝演奏、猿廻しといった奉納芸能は盛大に執り収める事叶い、誠に有難い極みであります。

## 《事業概要》

### ■建造物改修建設工事

- ① 本殿透塀建設工事
- ② 東廻廊多目的室移行改修工事
- ③ 楼門ライトアップ照明工事
- ④ 社務所軒下横断幕取付工事
- ⑤ 神馬舎移設工事
- ⑥ 古札納所改修工事

### ■境内整備工事

- ① 大鳥居移設工事
- ② 奉祝記念大燈籠一対建設工事
- ③ 社号標建設工事
- ④ 燈籠移設補修工事
- ⑤ 正面参道入口整備
- ⑥ 裏参道石垣建設工事
- ⑦ 裏参道紫陽花苑新設工事
- ⑧ 藤棚支柱建設工事
- ⑨ 揭示板新設工事
- ⑩ 絵馬掛け所移設工事
- ⑪ 神額『光格殿』『彦島八幡宮』取付工事

### ■鈴緒増設工事

- ⑫ 奉賛寄進者芳名碑建設工事

### ■調度品新調

- ① 本殿内御簾
- ② 門帳
- ③ 漆三方
- ④ 拝殿三人掛胡床

### ■奉祝記念行事

- ① 浅野温子語り舞台  
『日本神話への誘い』  
\* 山口県青年神職会共催

以上

本事業にご奉賛、ご寄進賜りました皆様方の御芳名は、芳名碑並びに芳名板に刻銘し永久保存致します。誠にありがとうございます。



# 節分祭のご案内

平成二十二年二月三日（水）

□厄除祈願・その他諸祈願／

午前八時三〇分～午後七時  
 ◎節分祭神事齋行中は御祈願祭を停止致しますのでご了承下さい。

□神 事／午後五時三〇分

□豆まき／

●第一回 午後五時〇〇分

●第二回 午後六時〇〇分

●第三回 午後七時〇〇分

（\*午後六時四十分より本殿にて祈願祭）

※三回目の豆まきは、年男女

（寅年廻り年）・厄年・年

祝い【\*下図参照】に該当

するご参拝の皆様方にも本

殿にて厄除祈願祭齋行後、

豆まきをご奉仕していただ

けます。

※節分祭当日、午後五時～六

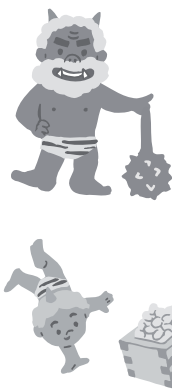
時三〇分の間に社務所受付

にてお申込下さい。

〈初穂料五千円〉

一年の無事と皆様方の厄除け開運を願い、平成二十二年の節分祭を執行致します。ご家族お揃いにてご参拝下さい。

◎行事、その他催しについてはポスター、ホームページをご参照下さい。



## 《厄除・年祝・廻り年祈願祭のご案内》

※御祈願祭は全て数え年（一般的に満年齢 + 誕生日前2歳／誕生日後1歳）です。

厄除のご祈願は1年を通し受け付けておりますが、星回りの関係上なるべく、誕生日を迎える事関係なく新年（元日）から節分（2月3日）までにお祓いをお受けしましょう。

### （厄年）

厄年は、古来より人生の転換期にあたり災いの多い年と言われてます。

特に、男性42歳・女性33歳は大厄の年とされ、前後の年を含め前厄・本厄・後厄の3年間身を慎み、氏神様の御加護を願う年とされております。

御神前に静かに額づき、感謝と反省と今後の発展を祈り願う事に大きな意義があります。

厄を祓い清め、氏神様の強いお導きを頂き、大厄を大躍（厄）進、飛躍（厄）の年として下さい。

性別	本厄年齢	前 厄	本 厄	後 厄
男	25歳	昭和62年生(24歳)卯	昭和61年生(25歳)寅	昭和60年生(26歳)丑
	42歳	昭和45年生(41歳)戌	昭和44年生(42歳)酉	昭和43年生(43歳)申
	61歳	昭和26年生(60歳)卯	昭和25年生(61歳)寅	昭和24年生(62歳)丑
女	19歳	平成5年生(18歳)酉	平成4年生(19歳)申	平成3年生(20歳)未
	33歳	昭和54年生(32歳)未	昭和53年生(33歳)午	昭和52年生(34歳)巳
	37歳	昭和50年生(36歳)卯	昭和49年生(37歳)寅	昭和48年生(38歳)丑

### （年祝）

年祝いとは、長き年月神様から生かされて過ごす事が出来た事への感謝の気持ちを込めて行うお祝いの行事であり、家が栄え、自分も落ち着きを加えしみじみと御神恩に感謝申し上げます。

御家族揃ってお年寄りに感謝しお祝いをして労う事も大切な事です。

上寿祝	明治44年生(100歳)	数え年100歳のお祝い。
白寿祝	明治45年生(99歳)	百から上の一を取ると白になり、数で云えば99である。
卒寿祝	大正10年生(90歳)	卒は略字で卒と書き九十と読む。
米寿祝	大正12年生(88歳)	米は字をわけると八十八となる。
傘寿祝	昭和6年生(80歳)	傘は略字で傘と書き八十と読む。
喜寿祝	昭和9年生(77歳)	喜は草書で喜と書き七十七と読む。
古稀祝	昭和16年生(70歳)	「人生七十古来稀なり」の漢詩にもとづく。
還暦祝	昭和25年生(61歳)	干支が丁度一巡し、誕生の年と同じになるので本卦返りともいう。

### （廻り年）

廻り年とは、自分の生まれた干支の年を指し、年男・年女として男女共通の厄年になります。

一般的にはあまり周知されておませんが、生まれて初めての廻り年を迎える13歳は「十三参り」として特に重要な年として今日に伝えられております。

大正 3年、15年 / 昭和 1年、13年、25年、37年、49年、61年 / 平成 10年、22年



ご存知ですか？

# ペトログラフィ岩

ペトログラフィとは、英語でペトロ(岩石)、グラフィ(文字/文様)であり、岩に掘り込まれたシュメール文字の事を指します。その文字が刻まれている岩をペトログラフィ岩と言い、神聖な神霊岩として当宮境内に注連縄結界の中安置されています。

シュメール文字は世界最古の文明と言われているメソポタミア(米所並大迷亜)文明を起こしたシュメール人が大規模な運河や都市国家を形成してかなり高度な文明を築き文字を発明したと考えられています。世界で一番最初に発明された文字と言っても過言ではありません。

さて、近年ペトログラフィ岩の調査研究が世界各地をはじめ我国でも日本ペトログラフィ協会を中心に様々な角度から進められています。しかし、未だ解明に至っておらず、学術的には多くの見解があるのが事実です。

ただ、現在我国でもペトログラフィ岩と思われる岩を安置している神社が少なくないのは事実です。日本ペトログラフィ協会の調査によると、元来石版として文字を刻む為の岩であった事は否めないが、その後雨乞いや豊作祈願などの祭りが行われた際、ご神体として崇めたり、人が登ると祟るなどとして神聖な場所に安置したりと何らかの形で祭祀と密接な岩として変遷し今日に現存しているそうです。

ここ数年、世界的にも学会やメディアでも取り上げられ、全国各地よりこのペトログラフィを一目見ようというご参拝の方が後を絶ちません。先日は、安倍晋三、元内閣総理大臣御令室昭恵夫人がペトログラフィ岩を拝見にご参拝されました。

是非この機会に、見た目ではあまりわかりにくいかとは存じますが、人知を超えた合理性で割り切れない目に見えない力のご加護に肖る為にも、ご参拝の折に結構でございますので是非御身足をお運び賜りますようご案内申し上げます。

\*ペトログラフィ岩についての詳細はホームページをご覧ください。



## お食事・仕出しをお任せ下さい



- \* 洋ホール2~100名様まで対応
- \* 和室12畳 (※6畳2部屋)
- \* 和室20畳 (※10畳2部屋)

## 彦島八幡宮会館 瑞鳳殿の御案内

お友達やご家族との会食、披露宴、新年会、忘年会、歓送迎会、各種懇親会、年祭・法要等全てに対応しております。仕出し等の各種弁当もご用意できます。ご予算献立等詳細はご連絡下さい。完全予約制ですので予めご了承下さい。(予約センター連絡先)

TEL〇八三一二三四一〇七三二

※社務所にも受付けておりますのでお気軽にご相談下さい。

## 彦島八幡宮オリジナル祭事暦

数に限りがございますので、ご希望の方はお早めに、社務所までお問い合わせください。(タテ六十三cm/ヨコ四十六cm)



全国氏子青年協議会加盟

# 彦島八幡宮 蘇志会 入会のご案内

ひこしまはちまんぐういそしかい

平成五年に結成されて以来、彦島八幡宮の御神徳を敬仰して秋季例大祭・節分祭をはじめ諸祭事を奉仕し、例会・研修会・レクリエーション等を通じて、会員相互の研鑽と親睦を計ると共に、地域社会に貢献し、郷土の発展向上に寄与するために活動を続けております。

何卒、当会の趣旨に御賛同戴き、ご入会を会員一同お待ちしております。

記

◎入会資格 満二十歳以上の男女  
(※法人団体・個人いづれも可)

◎年会費 志萬貳千円  
(※月会費〓壹千円)

◎主な活動内容

四月 総会開催  
新年度スタートに伴い、一年間の活動内容について協議

彦島神社例祭・佐々木小次郎大人命慰霊祭奉仕

※宮本武蔵 対 佐々木小次郎の決闘の地でも有名な彦島(巖流島)に渡り、祭典の補助

彦島八幡宮境内草刈除草作業(雨天の場合社殿清掃)

六月 彦島八幡宮境内草刈除草作業(雨天の場合社殿清掃)



中国地区氏子青年・神道青年合同研修会開催(中国五県内)

※テーマに副い研修し、様々な人と懇親を深める機会

七月 全国氏子青年協議会定期大会開催  
【各県持ち回り】

※神社にて正式参拝後、式典に参加する機会

夏越祭奉仕

※カヤとヨモギを用い、茅ノ輪を奉製します。前夜祭に参列し、菅拔神事(茅の輪くぐり)を受け、無病息災をお祈りします。

翌日は、御神幸祭(お神輿と共に彦島内の御巡幸、海上御渡)の祭典補助

八月 まほろば学級奉仕

※夏季休暇中の彦島地区の児童を対象として、当宮に於いて開校される林間学級の助勢



家族例会  
※会員家族を交えてのバーベキュー

山口県氏子青年・神道青年合同研修会・親睦ソフトボール大会

※県内の氏子青年や青年神職と親睦を深め、ソフトボールで汗を流します。

十月 秋季例大祭奉仕

※当宮において一年一度斎行される例大祭祭典の神事をはじめ、各種催しの準備 実施

大注連縄奉製

※新穀の藁(わら)を使用し、大注連縄を奉製

終了後の記念撮影の写真が来年のカレンダーとして参加者のお手元に配布されます。



忘年会例会

※その年の慰労を兼ね、忘年会を開催

大麻(御札)頒布

※当宮神職が、各会員事業所、自宅に同一、「伊勢神宮大麻」彦島八幡宮大麻を頒布・彦島八幡宮オリジナル祭事曆(カレンダー)を配布

一月 元日奉仕

※新年を神社奉仕から始めてみませんか:  
境内警備や甘酒などのふるまい実施



OFFICE GIGLO

(写真提供: オフィスジゴロ)

二月 新年例会

※節分祭にむけて協議

※参拝者に撒く福豆や福餅を前日に袋詰め作業

せんざいのふるまい、福引大会の実施担当

「建国を祝う青年の集い」

※建国記念の日に先立ち、若い世代を中心に建国を仰ぐ心を大いに高揚し、奉祝大会への参加の意気込みを高める

下関市建国記念の日奉祝式典奉仕

※下関市をあげて建国をお祝いする式典やパレードの警備、助勢

勉強例会

※会員より提案されたテーマについて研修

下関市氏子青年・下関市青年神職合同冬練成会

※男性は禪姿、女性

は肌が透けて見えない白衣姿で海に入り禊(みそぎ)

を行う(\*近年では長府・豊功神社下の海岸にて実施)



尚、詳細は彦島八幡宮社務所内「蘇志会事務局」へお問い合わせ下さい。

TEL)二六六〇〇〇/FAX)二六六一五九二一

平成二十二年 上半期

## 祭事日程(一覽)

〜一月〜六月〜

▼一月 一日 歳旦祭

三日 元始祭

十一月 六連島八幡宮歳旦祭

▼二月 一日 初午祭

三日 節分祭

十一月 建国祭

十七日 祈年祭

※「としごいのまつり」稲作五穀豊穰を祈る

▼三月 十四日 南風泊恵比須神社例祭

二十日 春季祖霊祭

※家の宗旨が神道の方の合同の先祖慰霊祭

▼四月 四日 竹の子島金刀比羅宮例祭

九日 六連島荒神祭

十七日 舟島神社例祭、佐々木小次郎慰霊祭

▼五月 二十五日 彦島地区戦没者慰霊祭

二十九日 昭和祭

十六日 福浦金刀比羅宮例祭

▼六月 十日 海士郷恵美須神社例祭

※神占神事において、彦島八幡宮夏越祭海上渡御の御座船(神輿をお載せする船)が選定される

上旬 貴布禰稻荷神社例祭(老町)

三十日 大祓式

編集・発行 彦島八幡宮社務所

下関市彦島迫町五丁目十二番九号

TEL)〇八三二六六〇七〇〇

FAX)〇八三二六六一五九二一

ホームページ <http://www.hikoshima-gun.net>

平成二十二年一月十五日

印刷・ナカハラプリンテックス